



上尾ロータリークラブ



2021-2022年度R.I.テーマ
奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第2893回 例会
2021. 10. 7

会長あいさつ



2021-2022年度 齋藤 修弘会長

週報 No.2177
発行 2021年 10月 28日

2021-2022年度
会長 齋藤 修弘
幹事 長沼 大策
副会長 深澤 圭司
副幹事 門崎 由幸
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 横山 泰史

ゲスト

2016-17年度ドイツ派遣 (浦和北RC)
ROTEX 2020-21年度 会長
樽林 みなと様

行事予定

- 11月 4日 社会奉仕事業
領家GGに保冷庫寄贈
(例会場・時間変更)
- 11月14日 地区大会
さいたま市文化センター
(例会場・時間変更)
- 11月18日 ガバナー公式訪問
直前準備
クラブ協議会①
- 11月25日 部門セミナー報告
(時間変更)

皆さん、こんにちは。たいへんお久しぶりです。この会場で例会を行うのは7/15以来になります。ご出席いただきありがとうございます。

本日受付でドライマシオンを皆さんにお渡ししました。これは台南東北RCの今年度の会長さんから8月下旬に私の自宅に送られてきたものです。緊急事態宣言が発令される前日に木山さんから、小さくカットしてヨーグルトに一晩漬けると生のマンゴーのように戻って、すごく美味しいと聞いていた矢先に送られてきたので驚きました。妻も娘もとても気に入って、その後リピート購入しています。

さて須田年度、当クラブがホストを務めたIMの翌日から今日まで1年8ヶ月経ちました。この間に色々影響を受け大変な思いをしている方が多いと思います。銀行の方いわく世の中の8割の業種で売上が低下して、逆に業績が伸びているのはほんの一握りだと、須田さんからお聞きしました。私のいる保険業界も逆風ささまじく、ほとんどの保険会社が売上前年対比で40～50%落ちています。状況はまだまだ良くない兆しが見えず、特にこの1年は忍耐の一年でいつまでこの逆風は続くのだろうという不安があります。そんな状況で、京セラの創業者でもあり日本航空の名譽会長である稲盛和夫さんの有名な著書『生き方』から、松下幸之助さんと稲盛さんのご縁にまつわるお話を紹介したいと思います。

— (本文より) 松下幸之助さんの講演を初めて聞いたときのことでした。当時の松下さんは、まだ後年ほどには神格化されておられない頃で、私も会社を始めたばかりの、無名な中小企業の経営者にすぎませんでした。そこで松下さんは有名なダム式経営の話をされました。ダムを持たない川というのは大雨が降れば大水がでて洪水を起こす一方、日照りが続けば枯れて水不足を生じさせてしまう。だからダムをつくって水をため、天候や環境に左右されることなく水量を常に一定にコントロールする。それと同じように、経営も景気のよいときこそ景気の悪いときに備えて蓄えをしておく、そういう余裕のある経営をすべきだという話をされたのです。それを聞いて、何百人という中小の経営者が詰めかけた会場に不満の声がさざ波のように広がっていくのが、後方の席にいた私にはよくわかりました。「何を言っているの

か。その余裕がないからこそ、みんな毎日汗水たらして悪戦苦闘しているのではないか。余裕があったら、だれもこんな苦労はしない。我々が聞きたいのは、どうしたらそのダムがつくれるのかということであって、ダムの大切さをあらためて念押しされても、どうにもならない」そんなつぶやき・ささやきが、あちこちで交わされているのです。やがて講演が終わって質疑応答の時間になったとき、1人の男性が立ち、こう不満をぶつけました。「ダム式経営ができればたしかに理想です。しかし現実にはそれができない。どうしたらそれができるのか、その方法を教えてください。これには話にならないじゃないですか」これに対し、松下さんはその温和な顔に苦笑を浮かべて、しばらく黙っておられました。それからボツと「そんな方法は私も知りませんのや。知りませんけども、ダムを作ろうと思わんとあきまへんな」とつぶやかれたのです。こんどは会場に失笑が広がりました。答えになったとも思えない松下さんの言葉に、殆どの人は失望したようでした。しかし、わたしは失笑もしなければ失望もしませんでした。それどころか、体に電流が走るような大きな衝撃を受けて、なにか茫然と顔色を失っていました。松下さんのその言葉は、私にとっても重要な真理を突きつけていると思えたからです。(本文引用) —

方法がわからないから実現できないのではなく、本気でそれを知りたいという思いが強くないから実現しない。思いや、願望の強さが一番先に来るのだと改めて気付かせてくれる一節だったので皆様にご紹介させていただきます。

そしてもう一つ。孟子の「告子(こくし)章」にこういう一節があるそうです。『天が重大な任務のある人に与えようとする時には、必ずまずその人の精神を苦しめ、その筋骨を疲れさせ、その肉を飢え苦しめ、その行動を失敗ばかりさせるものだ。これは天がその人の心を発憤させ、性格を辛抱強くさせ、こうして今までにできなかったこともできるようにするための「尊い試練」である』。

難の無い人生は、無難な人生。
難の有る人生は、有難い人生。とも言います。

例会を開催でき、皆さんと会えるようになって背筋がピンと伸びる思いです。辛い状況はまだまだ続くかもしれませんが、そこに人生の学びの要素があれば一歩ずつでも成長していけるんだと思って、一日一日を活動していきたいと思えます。

幹事報告

長沼 大策幹事

◇10月のロータリーレートは1ドル=112円です。

◇少し前の話になりますが、熱海の土砂災害と、佐賀・長崎の豪雨災害について義援金のお願いがきましたのでクラブから義援金を送り、お礼をいただきました。

◇10月14日は献血活動になります。当番のご協力をよろしくお願いたします。

◇10月はピンクリボン運動=乳がん検診啓発月間で地区社会奉仕部門からバッジが届きましたのでお配りさせていただきました。

◇10/24は世界ポリオデーですが、それにあわせて10/18~24にトレインジャックというプロジェクトが都内の電車をメインに行われます。



米山記念奨学会功労者表彰

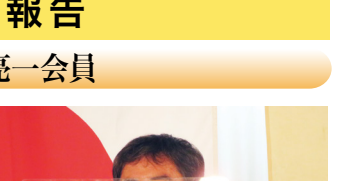
大塚信郎会員
第34回
メジャードナー



近況報告

山崎 亮一会員

人が生きていくうえで四苦八苦と言いまして八つの避けられない苦があると云います。その中に別れがあります。8月31日をもってさいたま水上公園が閉園になったということで、ここの売店にあるフライドポテトが大好きで、これがもう食べられないのかと非常に悲しい思いをしました。しかし先日浅草で同じ匂いの「オランダ生まれのラスフライドポテト」と巡り合えました。調べたら上尾で今も平塚のベシアのフードコートで販売しているそうです。一時の別れでしたが、また楽しむことができるようになり良かったなと思っている次第です。

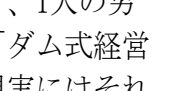


ROTARY CLUB OF AGEO

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員



いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

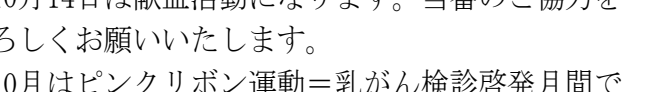
2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

私の留学体験はこのくらいにして、次はコロナ禍

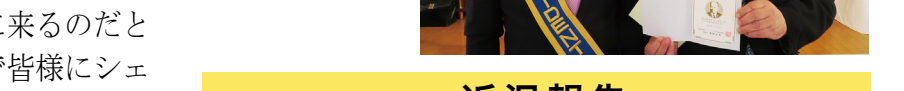


2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員



いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

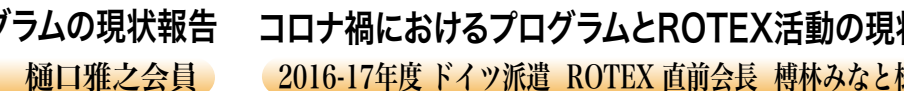
2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

私の留学体験はこのくらいにして、次はコロナ禍

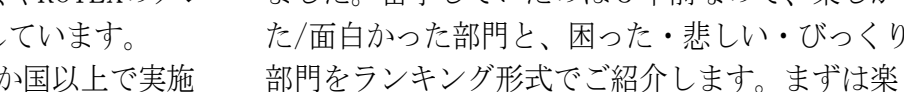


2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員



いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

私の留学体験はこのくらいにして、次はコロナ禍

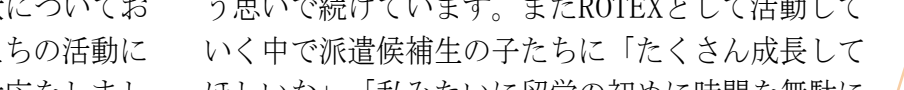


2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員



いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

私の留学体験はこのくらいにして、次はコロナ禍



2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員



いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

私の留学体験はこのくらいにして、次はコロナ禍

2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

例会主題

コロナ禍における青少年交換プログラムの現状報告

地区 青少年交換委員会 副委員長 樋口雅之会員

いま毎週末のように取り組んでいるのが青少年交換プログラムです。地区の青少年交換委員会が7年前と6年前、そして昨年と今年度、4年目の出向になっています。例会中止の間も、毎週末、オンラインで会議があるなど、委員会やROTEXのメンバーさんたちと一緒に長時間活動しています。

青少年交換プログラムは世界100か国以上で実施されていて、15歳から19歳までの学生が対象です。ロータリアン子弟が参加できる唯一のプログラムになっています。特徴としては1年間の長期交換で、それぞれの国で3～4軒のホームステイをして、学校に通っていただきます。日本全国34地区で毎年150名の派遣生を受け、第2770地区では毎年15名前後、日本で最多の受け入れ地区です。通常留学では1年間に300万～500万円ほどの費用がかかりますが、ロータリーがバックアップする交換留学だと60～100万円くらいに負担が抑えられます。

当地区の取り組みです。来日学生、派遣学生、派遣候補生がいて、それぞれ15名ずつ計45名程の管理指導をしています。来日学生、派遣学生は留学前に自国のオリエンテーションが義務づけられています。また当地区では来日学生に毎月オリエンテーションを行っています。

派遣候補生に8回に及ぶ留学前研修を行っています。留学前の準備、語学研修、海外での過ごし方など1年間研修をするのですが、そこで活躍いただくのが留学経験者のROTEXのメンバーです。

現状では2年間交換留学がストップしています。当地区では、新型コロナウイルスの影響を受け、2019～20年度の学生は3月に強制終了。2021～22年度派遣に向けて待機。2021年3月20日、RI会長より2022年6月30日までの交換事業の中止が発表されています。そして2022～23年度の交換留学再開に向けて5月から準備を始め、8月に10名の派遣候補生を決め、オリエンテーションを行っています。交換留学再開の折には上尾RCの皆さんにもご支援ご協力をお願いしたいと思います。

ドイツ留学体験発表

コロナ禍におけるプログラムとROTEX活動の現状

2016-17年度 ドイツ派遣 ROTEX 直前会長 樽林みなと様

皆さん、こんにちは。本日は留学体験とROTEX活動についてお話しさせていただきます。

私の派遣先はドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘンでした。私のホストファミリーは4家族いました。留学していたのは5年前なので、楽しかった/面白かった部門と、困った・悲しい・びっくり部門をランキング形式でご紹介します。まずは楽しかった部門です。第3位は、ホストマザーとの毎日の夜ご飯づくりです。お料理を任せられて嬉しかったし、ドイツ語力の向上にも役立ちました。第2位は、ドイツ流! 素敵なクリスマスの過ごし方です。ツリーを2Fのリビングに運んだり、教会に行ったり、鴨肉をローストして食べました。また12/25にはドイツの王家が住むレジデンスにサプライズで連れて行ってもらって、オーケストラのコンサートを聴くという贅沢な時間を過ごしました。第1位は飛び入りで参加した他地区のヨーロッパツアーです。

逆に困った・悲しい部門です。第3位は、学校初日に友だちが出来なかったことです。第2位は、ファーストホストファミリーでの出来事で、夜7時に帰宅したらドアが開かず、極寒、真冬のドイツで1時間半締め出されてしまったことです。第1位は、シャワーを毎日浴びていたら怒られてしまったことです。でも郷に入っては郷に従えで、家族のルールを守って生活しました。

</